

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	5-3	
PDCA	主要事業名	広聴事業	部課名	企画部市民協働課	担当 内線	森 237	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 1 - 1 単位施策： 情報共有 全体事業期間： 令和 4 年度 ~ 4 年度 全体事業費等： 932 千円 会計 一般会計 歳出科目： 02.01.12.13.01					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用	
	事業概要等	事業概要： マイレポはんだ、陳情・要望、市長への手紙、住民要望、パブリックコメント手続等で寄せられた市政に対する市民の意見や要望などを把握し、関係課等への伝達及び進捗管理を行う。 事業目的： より良い市政運営を行うため、市民等から届く意見を関係課等へ伝達し、施策に反映させること。 事業内容： マイレポはんだ、陳情・要望、市長への手紙、住民要望、パブリックコメント手続等の運用を行うほか、新たに「市民討議会」の実施に向けた仕組みを構築する。 問題点・課題等： 幅広い市民の声を市政へ反映させるため、広聴手法の充実を図る必要がある。					
	予算額	主要事業とする理由					
	932 千円	市民の意見を市政に反映し、よりよい市政運営を行うことで、誰もが住み続けたいまちとしていくため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費	市民の意見を反映させた市政運営を行うことで、本市への愛着が醸成され、誰もが住み続けたいまちにつながる。					
	788 千円	目標値や目指すべき状態					
	国費	市民から届いた声を滞りなく各課へ伝達し、市政に意見が反映できるよう適正に運用している状態であること。					
	0 千円						
	県費						
0 千円							
その他							
144 千円							
D 実績値	決算額	得られた成果					
	920 千円	様々な広聴手段を活用し、市民の意見を市政に反映することができ、迅速に施策につなげることができている。 成果指標 市民から届いた声を滞りなく各課へ伝達し、市政に意見が反映できるよう適正に運用している状態であること。					
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 道路の維持管理などに関する住民要望制度については、進捗管理を適正に行い、スピード感をもって多くの課題を解決することができており、要望者の期待に応えている状況である。また、「市長への手紙」における提言は、全体の3割が子育て・教育に関することであり、市政運営の重点事項への市民の関心度の高さを把握でき、担当部署において施策の改善を図るなど、市政運営に反映している。さらに、新たな広聴事業として検討してきた市民討議会については、制度構築に向けて検討を進め、討議会の運営方針を定めた。					
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性	拡充推進 既存の広聴制度に関しては、引き続き、意見・要望等を施策につなげる管理業務を適切に遂行する。さらに、新たな広聴手法として市民討議会を実施し、市民の市政への参加意識を醸成する。また、インターネットを活用したアンケート調査であるeモニター制度を実施し、市政運営の参考資料として活用するとともに、市民の市政への関心や理解を深める。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	余地	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
主要施策の成果報告書で活用 評価項目（決算時に作成）							